

令和6年度 第2回南長浜地域まちづくり共創会議 要点録

I 日 時 令和7年1月28日（火）14時00分～15時30分

II 場 所 長浜市役所本庁3階 特別会議室（長浜市八幡東町632番地）

III 出席者 仁連 孝昭委員（委員長） 岩崎 博論委員（副委員長）

中尾 元重委員 片山 郁夫委員 伊藤 義弘委員

辻村 忠嗣委員 野本 浩司委員 西川 満委員

茂森 利洋委員 中川 英治委員 松本 秀章委員

川崎 他家廣委員 小川 暢保委員

【オブザーバー】伊藤 喜久雄議員 橋本 典子議員

【長浜市】浅見宣義市長

【事務局】未来創造部 中嶋部長、村崎次長

政策デザイン課 手崎課長、服部課長代理、橘副参事、野村主査

都市計画課 中村係長、松橋主査

IV 内 容

1 開 会

事 務 局 開会を宣言

2 市長あいさつ

市 長 あいさつ

3 南長浜まちづくりビジョン for2050（案）について説明

事 務 局 資料に基づき説明

4 意見交換

中尾委員 ・ ビジョン作成への賛辞

・ 六荘地区として実現に向けて協力していきたい

小川委員 ・ 県産業立地は選外となったが、産業ゾーンは記していくのか

事 務 局 ・ 県や国と協力しながら、市として独自にでも進めていく

市長 ・ 長浜の命運を握っているプロジェクトであり、あらゆる方法を用いて産業用地として開発していく

小川委員 ・ 産業立地は金を生み出す施策であり、これから地域含めみんなで頑張っていきたい

・ ビジョンのとおり大学を核とした産業振興を図っていけば素晴らし

- い未来が見えてくるので、着実に進めていってほしい
- 茂森委員
- ・ビジョン作成への賛辞
 - ・まちづくりの基本は「人」であると考えますが、ビジョンに目標とする人口に関する指標は設定しないのか
- 事務局
- ・数値目標は設けていない
 - ・これからの時代を鑑み、住民票の数にはこだわらず人が「集まる」ことが重要
 - ・最終的に定住に繋がるように、常に交わりや滞留が生まれる仕組みをつくっていきたい
- 茂森委員
- ・ビジョンを実施していくのは我々住民の役割である
 - ・南長浜としてオンリーワンを創っていききたい
- 中川委員
- ・ビジョン作成への賛辞
 - ・ビジョンをどう進めていくかが重要であり、5点質問したい
- ①ロードマップに田村駅改築が書かれていないが、行う予定がないということか
 - ②リラックスパークゾーンは何ができることを想定しているのか
 - ③具体的な取組は市のどこの部署が進めるのか
 - ④どういうことを第一歩として考えているのか
 - ⑤まちづくりはボトムアップであり、都市計画はトップダウンと考えるが、ビジョンは都市計画とどうつながるのか
- 事務局
- ①田村駅改築はこちらでも考えているので安心してほしい
 - ②検討レベルとしてレイクアクティビティの拠点+カフェ等の飲食店を想定しており、県とも湖岸活用について協議を行っている
 - ③ビジョンは各分野別計画に繋がりを持たせる役割があり、各計画に基づいて各セクションで実施することになる。縦割りにならないように、これまで以上に連携して進めていく
 - ④ロードマップの2025年にあるような事業については、予算措置も含めて進めていく予定である。第一歩として、大学と連携した事業や土地の利活用を進めていきたい
 - ⑤市街化区域の編入をとっても都市計画はトップダウンでは進まない。地元地域の合意形成や事業者の開発計画など、ボトムアップの要素が強いと考えるので、地域や事業者との連携を図っていきたい。ビジョンの内容は都市計画マスタープランなどの計画にも反映していくことを検討している。
- 中川委員
- ・都市計画の変更は地元も賛成してくれるだろう
 - ・ビジョンの進捗管理はどこの部署が行うのか、政策デザイン課か
- 事務局
- ・そう考えている
- 伊藤委員
- ・ビジョン作成への賛辞

- ・ 神田まちづくり協議会でも独自にビジョンを作り、同じ方向で進んでいけると感じている
 - ・ 産業団地形成に向けて、ぜひ実現を図っていただきたい
- 仁連委員長
- ・ ビジョンについて、委員の皆さま同意の方向である
 - ・ 南長浜地域は青地農地の関係でこれまでから活用が進んでこなかった経緯があり、農業についても同時に検討していかなければならない。食料自給の課題もある時代であり、ビジョンのなかで記載が薄い印象があるので、今後実行に移す段階では強く示してほしい
 - ・ ロードマップは点線のつながりが大事であり、次の事業にどうつないでいくのか、その関連性を十分に理解して進めていく必要がある
- 野本委員
- ・ ビジョンは公開していくのか
 - ・ 若い世代にも公表し周知してほしい
- 事務局
- ・ 市民にも公表し、このビジョンを地域の宣伝材料として事業者や教育現場へも広く周知する
- 野本委員
- ・ 若者が一人でも残ってくれるように願う
 - ・ 学校などの教育機関でも広く周知してほしいと思う
- 事務局
- ・ 学校での周知は可能だと考える。やっていきたい。
- 岩嵯副委員長
- ・ 昨年度インタビューした方々へもビジョンを周知できればと思う
- 仁連委員長
- ・ ビジョン実現のために数値目標はあった方がいい。
 - ・ さいかち浜の利用者など、関係人口の目標はあってもよいのではないかと。進捗管理の中で検討いただきたい。
- 事務局
- ・ 各事業の単位で指標と実績を示していきたい
- 中川委員
- ・ 地域共生コミュニティゾーンや地域ネットワークコミュニティゾーンなどの取組みについて、これらは南長浜地域だけを対象に行うものなのか
- 事務局
- ・ 当ビジョンの位置付けとして、南長浜地域は実験的、先行的地域である
 - ・ この地域での成功事例を長浜市全域へ広げていきたい
- 岩嵯副委員長
- ・ 地域共生コミュニティゾーンや地域ネットワークコミュニティゾーンのような地域は市内に点在している。
 - ・ 通常の経済活動ベースで考えると商店等の維持は難しい
 - ・ 新たなローカルストアの視点で小さな商店を繋ぐ、地域間をつなぐ、空き家を開発する、といった地域課題の解決方法を南長浜から発信していければと考えている。
- 市長
- ・ 移動販売など、地域課題への取組みは現在も進めているが、これからも民間と協力した様々な可能性を追求していきたい。
- 川崎委員
- ・ これまでから様々な計画が作られてきたが、夢で終わらないように

実績を作っていただきたい

松本委員

- ・農業の視点も産業ゾーンに組み入れていただければと思う。
- ・まちづくりの展開としてゲートウェイをまずは進めるべきと考える
- ・田村町周辺に住んでいただくのが大事であり、そのために田村駅を優先して改修してほしい
- ・重要なプレイヤーとなるのは長浜バイオ大学であり、大学周辺の開発を進めていくことが大事である
- ・子育て世代は、「子育て、教育、医療」が大事なポイントであるが当ビジョンではその印象が薄い。総合計画など別の分野別計画で補完されていることは存じ上げているが、計画体系においてその点を分かりやすく見せてはどうか

仁連委員長

- ・子育て（への安心）が見通せないとは人は住まない
- ・子育て事業は行政として検討してほしい

5 今後のスケジュールについて説明

事務局

- ・2/19 長浜市庁議
- ・3/14 長浜市議会 3月定例会月議会（総務教育常任委員会）
南長浜まちづくりビジョン for 2050 策定・公表

6 閉会

以上